



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)廣内 世英 (副会長)渡邊 裕之 (幹事)有我 信行
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第1326回例会 2014年3月19日

本日のプログラム

例会 12:30 ~ 13:30
卓話「私とロータリー」
吉田会員・浅原会員・澤田会員

♪ 今月のソングリーダー 渡辺 裕之会員 ♪

前回の例会報告 2014年3月12日

副幹事報告

- ①本日、皆様のメールBOXにお配りしておりますご案内について
 - ・下期の例会スケジュールにつきまして3月12日改訂版をお手許の計画書に差替えをお願いします。
 - ・4月9日(水)移動夜間例会は(家族会)になります。会場は琉球料理・舞踏のお店「みやらび」で17時受付の17時30分点鐘。ご家族お誘い合わせのうえ、ご出席をお願いいたします。
 - ・台北東海RC19周年例会が4月24日台北喜來登ホテルにおいて18時より開催されます。23日はHENRY会長の経営する温泉施設において夕食会にご招待もいただいております。後日、FAXにてご参加の有無を確認させていただきますのでご予約をお知らせください。
- ②第2520地区(岩手・宮城)の山田RCより小中学生の文集「やまだの作文」42集ご恵送いただきました。
- ③地区青少年交換派遣学生の募集について
RI第2580地区では青少年計画に基づき海外での留学生生活を体得してもらうため国際性豊かな候補者を募集しております。
募集期間 2014年4月1日~5月16日

次回のプログラム

例会 12:30 ~ 13:30
卓話「映画を熱く語る」
映画俳優 千葉真一氏
紹介者 月井雅夫会員

派遣期間 2015年7.8月より1年間
募集要項他、プログラムの詳細、留学体験など、地区のHPで「地区青少年交換プログラムの募集」欄を参照、又は事務局までお問い合わせ下さい。

■ゲスト

東京池袋RC副会長 野口 昇兵様

■ビジター

池袋RC 榎本 稔様
東京西RC 川井 直樹様

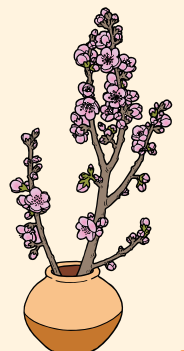
■出席報告

会員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	2月26日分 修正出席率
33名	27名	21名	6名	77.78%	85.71%

例会臨時変更のお知らせ

東京板橋セントラルロータリークラブ
4月4日(金)夜間移動例会(花見例会)を
4月3日(木)に変更

東京池袋ロータリークラブ
5月29日(木)休会 → 通常例会
6月5日(木)通常例会 → 休会
(国際大会に会長・副会長・
幹事出席のため)



みんなで語ろう「大いなる仮説!」

東京池袋ロータリークラブ

副会長 野口 昇兵氏



卓話者を囲んで



ニコニコBOX

野口昇兵様／本日は貴クラブにての卓話をさせて頂きます。我が池袋RCと貴クラブの益々の発展の為に頑張ります。

野口昇兵様／卓話の謝礼をニコニコいただきました。

廣内会員／お忙しい中、池袋ロータリークラブ副会長野口先生に卓話に来ていただいて、誠に有難うございます。心より感謝致します。

渡辺会員／本日は野口会長エレクト卓話、宜しく御願ひ致します。大変楽しみにしておりました。先週誕生日のお祝い誠にありがとうございました。

佐藤会員／先週木曜日、新入歓迎会を開いていただきました。有難うございました。まだお話しした事のない会員の方もいらっしゃいますので、今後、是非お話ししたいと思います。

新倉会員／佐藤様歓迎会出席できず失礼しました。早退。

櫛田会員／浅原委員長のお陰で佐藤さんの歓迎会が盛大で和やかに開催されました。ありがとうございます。会費も若干余りましたのでニコニコいたします。

RI会長からのメッセージ



ロン D. バートン
2013-14年度会長
2014年3月

親愛なるロータリアンの皆さん、アメリカ・オクラホマ州ダンカンで育った私は、誰もが読み書きできるものと思っていました。私が通った小学校では、7～8歳ころまでには、普通に読むだけではなく、本を上からのぞき込んでも読むことができることも求められていました。クラスみんなが一人ずつ順番に本を朗読しました。もちろん、みんなに絵を見せながら、大きな声で朗読したいと思っても、簡単にできることはありません。

小学生のころは毎週そんな練習をしていたので、最後には、どんなふうにも本を持ってもすらすらと読めるまでになりました。

読み書きの大切さを再認識

当時、そのようなスキルについて、あまり深く考えたことはありませんでした。数か月前、アラバマ州ディケーターで行われているロータリーのプロジェクトを訪れた際、私が1年生の教室に入ると、6歳の児童が学ぶその教室で、本を読むよう頼まれました。もちろん私は、喜んでその願ひに応えました。腰を下ろし、彼らが選んだ本を開き、約30人の小さな子どもたちに向かって、私が2年生の時にしたのと同じように、上からのぞき込んで本を読み始めました。

ロータリアンが手助け

つまり、半世紀以上前に学んだのとまったく同じことをしたのです。しかし、大人として、そして特にロータリアンとして、その経験は異なることのように思えました。私は、読み書きを一生懸命学んでいる子どもたちのグループに対して本を読んでいました。私たちは彼らの教室を見学しました。その学校では、ロータリアンが毎週通い、手助けが必要な子どもたちに対しても本を読んであげています。その教室にいる子どもたちが成長して、読み書きができる大人になるであろうことに疑いはありませんでした。たとえそれが上からのぞき込んでいるような姿勢でも、大人たちが子どもたちに本を読んで聞かせるように本を読むことができるようになるでしょう。

私たちの活動を祝う

世界には何百万もの恵まれない子どもたちがいることを、私たちは知っています。だからこそ、私たちは基本的教育と識字率向上をロータリーの奉仕の優先事項にしています。

今月は識字率向上月間です。地球の裏側にいる子どもであれ、まさに自分の町にいる子どもであれ、私たちが行っている子どもの識字率向上に対する支援が、どんなに素晴らしい贈り物かを、あらためて考えてみましょう。